

● 新年を迎えて

校長 松本 光正



松本校長先生 近影

今年度も同窓会には本校の教育活動に様々なご支援を賜り感謝申し上げます。

まず、今年度、本校インテリア科の卒業生である須田賢司氏が人間国宝に認定されたことに学校を代表してお祝い申し上げます。本校は、明治40年に築地に府立工芸学校として開校して以来、近代技術やデザインの摂取とともに、伝統工芸の継承と発展を極めることで、他の都立高校の追随を許さない

こうげい

誠実 元気
信愛 規律

工芸・デザイン系の学校として発展してきました。今回の受賞は本校関係者にも大変励みとなる知らせで、引き続き、豊かな感性と高い専門性の育成に向け、教育活動を継続していく責務があると受け止めております。

さて、11月1・2日に開催した工芸祭では、6100名を超える方に来校していただき盛況のうちに終了しました。昨年は来校者が6000名を超え、今年は更に昨年を上回る多くの方に本校の教育活動の一端を披露することができました。本校の工芸祭は、日頃の授業成果を見ていただくことを大きな目的としています。日頃、生徒たちは使う側や見る側からの視線を大事に作品制作にあたっています。この姿勢が出来上がった作品に表れており、今後更に精進を重ねる必要があります。



が、自己満足的な作品ではなく、見ごたえのある作品展示となっています。

コンテストや資格取得など、専門性を深化させる活動も活発です。ジュエリーデザインコンテスト・板金製品技能フェアコンテスト・高校生ものデザインコンテスト・高校生デジタルフォトコンテスト・産業デザインコンベンなどの各種コンテストに参加し、平成25年度は延べ148名が入選・受賞しました。また、色彩検定・CAD検定・建築CAD検定・グラフィックデザイン検定・レタリング技能検定など専門学習に関する検定、危険物取扱者・ガス溶接技能講習修了者・インテリアコーディネーターなどの資格取得に取組み、平成25年度は延べ667名が合格しました。

平成19年度に100周年を迎えた本校は、平成29年度に110周年を迎えます。もののづくりが短時間で完成しないように、何事も日々の鍛錬の中から生まれてきます。今後とも、本校の教育



工芸祭ゲート

活動に変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

● 平成26年度 卒業制作展

● 日時 平成27年

3月4日(水)～7日(土)

9:30～17:00

● 場所 東京都美術館

*皆様お誘い合わせのうえ、後輩の勉強の成果をご覧ください。

プラスチック
金型製作

真空成型型
プレス抜型

圧空成型型
トムソン抜型

企画デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V-MOLD バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11

tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559

埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5

tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-

<http://www.vmold.co.jp/>

e-mail

caduser@vmold.co.jp

滝澤 方美 (昭29・D卒) (株)たき工房 (株)日本コマインシャルフォート (株)フクアップたき (株)インバクトたき (株)タクト (株)オッズデザイン (株)ブラン (株)たきC1 (株)たきホールディングス	大鳥 身吉 (昭29・M卒) (株)シグナム 相談役	下山田 信一郎 (昭23・M卒) 中京工芸会 会長	丸山 士郎 (昭43・A卒) 関西工芸会 会長	桜井 洋一 (昭43・F卒) 築地工芸会 会長 (株)スパイク 代表取締役
石原 義久 (昭30・P卒) 石原エディター事務所	頌 春 2015・1・1  撮影・神山隆夫 (昭43・A卒)			砂口 政範 (昭30・M卒) (有)砂口製作所 代表取締役
中山 清 (昭33・M卒) 築地工芸会 理事				茂木 益雄 (昭30・P卒) (株)フォレスト 代表取締役 会長
細江 邦雄 (昭41・M卒) 築地工芸会 監事 (有)ステーション・エム 代表取締役	駒村 武夫 (昭40・D卒) (株)ソフケン 代表取締役	中村 輝雄 (昭38・P卒) (有)中村印刷所 代表取締役	荒井 拓哉 (昭35・D卒) 築地工芸会 理事	北澤 隆 (昭33・F卒) パキウムモールド工業(株) 代表取締役会長
高木 實 (昭48・A卒) (株)タカギ彫金工芸 代表取締役	梶 広幸 (昭44・D卒) 築地工芸会 副会長	神山 隆夫 (昭43・A卒) 築地工芸会 理事	井上 正治 (昭42・A卒) (有)東新幸社 代表取締役	五反田 稔 (昭35・M卒) 中京工芸会 副会長

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

昨年 8 月 21 日以降、昨年 12 月 9 日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

なお、本来は前号で掲載しなければならなかったご芳名を、手違いから前号に掲載できませんでした。お詫びして本号に掲載させていただきます。

内藤亮一、佐味貫義、林哲三、打越長武、鯉沼誠司、後藤武敏、高橋実、高井英一、渡邊清二郎、内山孝、綱島昭夫、菅間唯夫、桂盛仁、五十嵐賢治、穂坂晴之、上床亦、金親二郎、矢吹郁雄、田代雄、長澤政治、細江邦雄、大野武夫、大林眞理子、高島順、竹内大生、渡辺昭順、尾崎誠、莊司三郎、下山田信一郎、東松国雄、山田一彦、橘正春、野口浩佑、関根伸司、渡邊徹雄、鈴木三郎、中村保弘、小林久展、杉本弥和子、名倉祥一、若松盛正、大沼正道、高橋雄作、矢嶋弘志、吉口一広、木村明、岡田勇、猪俣新治、石島楓、西田篤生、高橋裕次郎、山根あおい、丸茂睦夫、佐藤幸夫、佐藤守克、大須賀崇浩、西井和男、黒田次郎、桂盛仁、鈴木陽子、清野直子、櫻井敏之、野本能義、今井昭司、安藤良子、橋本恵光、吉田稔、上勝鉄夫、塚田大介、内藤亮

一、佐野勝彦、福本信也、渡辺昇平、川津敬介、酒井寛、小川幸男、大滝史博、丸山士郎、浅岡輝彦、橋正春、渡部実忍、関根伸司、浦野至誠、末本洋太、服部功、荒木勝義、小田部邦彦、山本透、田中耀信、磯貝愛々花、工芸三十五機、小野塚均、佐味貫義、村上由香子、佐立喜由、福田一郎、油井進、国本好子、林昭弘、浅岡輝彦、高橋幹雄、中村輝雄、小井戸信雄、篠沢淑子、神山隆夫、高木実、渡辺一孝、今野健三、新井裕子

◆平成 26 年度

第 2 回理事会報告

平成 26 年 11 月 29 日 午後 4 時から母校会議室において、平成 26 年度第 2 回理事会が開催され、出席した 29 名の理事により、次の報告、審議、承認が行われました。

1. 会長より報告

母校工芸祭は 11 月 1・2 日に盛況裏に開催され、6000 人以上の方が来校された。

中京工芸会総会が 10 月 19 日(日)に、

関西工芸会の集いが 11 月 3 日(祝)に開催され、どちらも盛会であった。

2. 同窓会会費納入の改善

郵便局とコンビニ両方から振り込みのできるシステムの検討経過が報告された。

3. OB 展示について

2015 年 4 月から、母校 1 階の展示スペースにおいて、各科毎の展示をすることが決定された。D 科でスタートし、半年毎に展示科を交代する。展示順…2015 年 4 月…D 科、10 月…A 科、

2016 年 4 月…F・I

科、10 月…P・G 科、

2017 年 4 月…M 科

4. 工芸高校 創立 110 周年記念行事について

2017 年に工芸高校は 110 周年を迎えるがその記念行事について、以下に意見が述べられた。

・記念展示会を行い、在校生が同窓会のことを考えてくれるためのパンフレットを発行する。

・工芸の将来について先生の意見を冊子にして発行する。

・100 年～110 年、10 年間の若い卒業生の作品冊子発行または展示会を行う。

・かんなな冊子を作り、全卒業生、全生徒に配る。

・中学校に配ることを前提にパンフレットを作り、配布する。

★前記の意見を参考に、平成 27 年・第 1 回理事会で方向性を決める。

5. 新理事承認

・D 科…長江豊美(昭和 54 年卒)
・F・I 科…高垣嘉織(平成 19 年卒)
前記理事が承認された。

訃報

前回の会報 162 号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

() 内は逝去された日です。

篠澤 英雄氏	昭 6・M 卒
村井宇之助氏	昭 12・A 卒(26・9・11)
石井 孝氏	昭 14・M 卒(26・6・5)
間島 栄一氏	昭 16・三奉卒(26・7・20)
橋本 博之氏	昭 17・A 卒(26・8)
星野 喜一氏	昭 18・M 卒(26・9・21)
野村 明氏	昭 21・M 卒(26・7・22)
阿部 光佑氏	昭 25・M 卒(26)
石上 泰堂氏	昭 25・F 卒(25・10)
鈴木 皖司氏	昭 28・A 卒(26・2・22)
山賀多三男氏	昭 29・P 卒(26・1・23)
蔵元眞一郎氏	昭 32・M 卒(26・10・19)
上田亜沙子氏	昭 35・A 卒(24・10・14)
福本 晴男氏	昭 35・F 卒(26・9・11)
湯浅 秀雄氏	昭 35・D 卒(26・11・1)
相葉 信吾氏	昭 52・F 卒(25・10・29)

お詫び

No.162 号の計報で、ご逝去された方の卒年に誤りがありました。

三橋昇太郎氏、柳沢朗氏、小沢實樹氏の卒年は正しくは「昭和 28 年・P 卒」です。訂正してお詫びいたします。

高松宮記念賞を受賞した

松原 伸生さん

(昭59・D卒)

昭和59年D科卒業の松原伸生さんは、「第61回日本伝統工芸展」に於いて高松宮記念賞を受賞するという快挙を成し遂げました。

松原さんに受賞作品の解説、「ものづくり」に対する思い、そして工芸時代の想い出を語っていただきました。

「第61回日本伝統工芸展」に於いてこの度、高松宮記念賞を受賞いたしました。毎年秋に開催される本展には、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門に全国から多数の応募があり、その中から入落選、受賞等が決定されます。

都立工芸デザイン科を卒業後、染色の道に入って30年目の今年、このような賞を賜り、驚きと共に嬉しい気持ちでいっぱいです。

日本伝統工芸展は数ある公募展の中でも「用の美」という点において、その信念のもとに長く続けられている展覧会です。

部門毎に重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)を擁し、その技術の伝承と発展を目的に行われているものです。

毎年、沢山の力作が選ばれている中

で自分の作品が評価されるということは、普段の作品づくりをしていく上で、意識高揚の為のライフワークにもなっています。染織の分野での諸先輩方との係わりは、その専門としている技法の違いは元より、考え方や作品制作に対する姿勢など、勉強になることが多いです。

工芸高校在学中は決して褒められた生徒ではなく、先生方には迷惑の掛けっぱなしであったことが続々と思い出され、赤面の極みです。

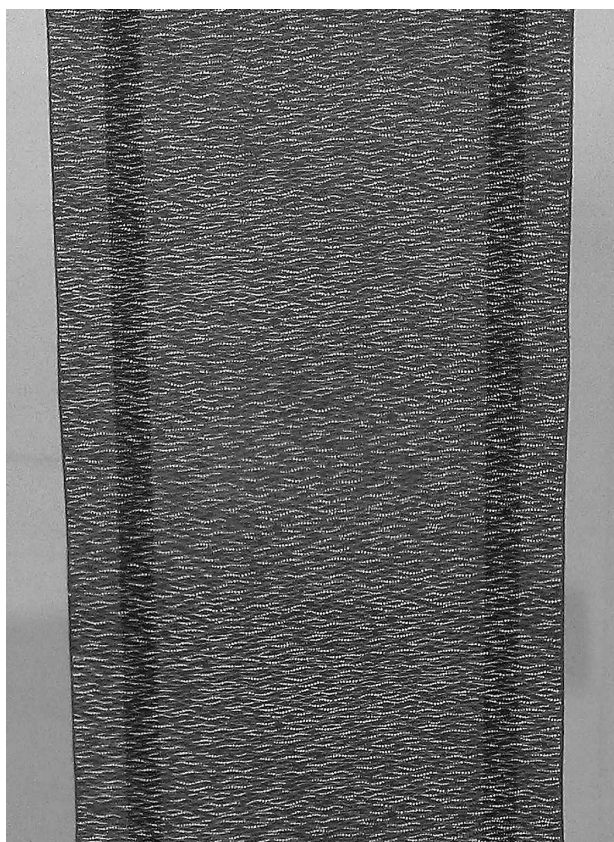
長板中形とは江戸の頃より発達した、浴衣染めの古称です。現在、浴衣として巷にあるものの殆どは、プリント物ですが、古くから日本では、藍染による木綿の浴衣が重宝がられて来ました。長板中形は、その名の通り、反



松原伸生さん

物半反分の板に生地を張り主に伊勢型紙として型彫を施されたものを糠と糯粉で作った防染糊を使い糊置きし、藍がめに浸して染め上げたものです。その際、機械的要素を全く含まず、型を繋ぎ、更に一重として着用する浴衣としての特長から、表裏同一に糊を置くといった作業が必要になります。

今回受賞させて頂いた作品は、生地素材を薄い絹で織られた「夏大島」に



長板中形着尺『漣文』

2014年9月16日の朝日新聞 夕刊には、松原さんの作品、長板中形着尺『漣文』が、「水面で光と戯れる漣の情景が爽やかに染められた作品」と紹介されました。



求め、大小からなる細かな「点」のみで構成された図柄を生地の両面から糊置きし、呉入れを済ませた後に中藍程度に染めてみました。裏が透けて見えてしまう「薄もの」の生地への両面からの糊置きは、模様のずれが瞬時に判る為、その作業工程に関しては充分な注意力、集中力が必要でした。

日本伝統工芸展に挑む時、「自分にとって現在できることの少し上の仕事」をしたいと思っています。

ものづくりは孤独な作業と緊張の連続ですが、私の場合、自分の作ったも



制作中の松原さん

のが人の手に触れられ、纏って貰えた時にそれまでの努力は大きな喜びに変わります。

これからも、そういった気持ちを持ち続け新たな作品づくりに臨んで行きたいと思っています。

公益社団法人日本工芸会正会員・監事
／染織部会幹事／東日本支部常任幹事
千葉県美術会 理事

松原 伸生

●主な受賞

1987年	伝統工芸新作展、日本伝統工芸展 初入選
1988年	日本伝統工芸染織展 初入選
1991年	日本工芸会正会員に認定
2000年	伝統工芸新作展 奨励賞
2005年	日本伝統工芸染織展 新人奨励中国新聞社賞
2006年	日本伝統工芸染織展 新人奨励山陽新聞社賞
2007年	日本伝統工芸染織展 東京都教育委員会賞
2008年	千葉県美術展 県展賞
2009年	日本伝統工芸展 新人賞
2012年	東日本伝統工芸展 鑑査委員
2014年	日本伝統工芸展 高松宮記念賞

●校友の活躍

次の方々の個展・出品等がありました。

◎個展

林 哲三 木の器 作品展

(昭和37・F卒)

北日本新聞砺波支社 ギャラリー

今年は

この世に生を受けて70年

木にかかわって55年

日本伝統工芸展に出品してから50年

人生と木工芸の道を歩んできた月日の

中の一つの節目を迎えました

日頃制作したもののばかりですが作品展

を開催します

何卒ご高覧いただければ幸いです

今後制作に励んでゆく所存です

よろしくお願い致します

林 哲三 (個展案内状より)



I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)

〒101-0064

東京都千代田区猿楽町2-8-16

平田ビル8階

電話 03-5577-3025

FAX 03-5577-3027

Email nakayama@ifpat.gr.jp



杉拭漆座卓・酒器セット



桑拭漆八稜箱

● 校友の活躍

感性を「かたち」にする

基 恒良さんの家具製作

井上和好・基 恒良（昭58・F卒）二人展

東京青山にある画廊「新生堂」にて、10月22日(水)から11月7日(金)まで「井上和好・基 恒良 二人展」が行われました。

基 恒良さんは1983年に室内工芸科を卒業。その後、額工房「井上箔山堂」に入社し、1990年にイタリアへ家具制作やデザインを学ぶため留学。帰国後、北海道東川町にて工房「T. MOTTO」を開き、現在、家具作家として活動されています。

北海道で制作された、スタイリッシュな細い線のデザインに、木という素材が持つ暖かみが溢れ出る家具たち。壮大な自然の中で生まれたこれらひとつひとつから、基さんの人柄に触れる



様々なデザインの椅子



家具「LANCIA」

れたのですかと質問すると、「様々な作品を見るのが、一番の勉強。デザインは人それぞれ、人から言われて出来るものじゃない。」と熱く語ってくださいました。基さんの作品のデザインは、自らで培った感性が、惜しげも

ことができます。

そしてお忙しい中、イタリアでの学びを懐かしそうに語ってくださいました。留学先では実践で学ぶことが大切と言われ、午前中は学校で授業を受け、午後は町の家具屋で実習を行ったそうです。職人の仕事ぶりを隣で見ながら実習が出来るという環境は、イタリアならではのとおっしゃっていました。これらの学びの中で、デザインも勉強さ



家具と一緒に、笑顔の基恒良さん

無く「かたち」として表現されているのだと強く感じました。

最後に、若い人たちにに向けて「視野を広く持ち、冒険して、研究することが大切」とコメントしてくださいました。工芸からイタリア、そして北海道へと、学ぶことをやめず、家具製作に真摯に向き合う基さんの姿は、今私たちが一番大切にしなければならぬことだと思いました。

高垣嘉織（平成19・I卒）

◎ グループ展

異なる素材の彩り コロレ展

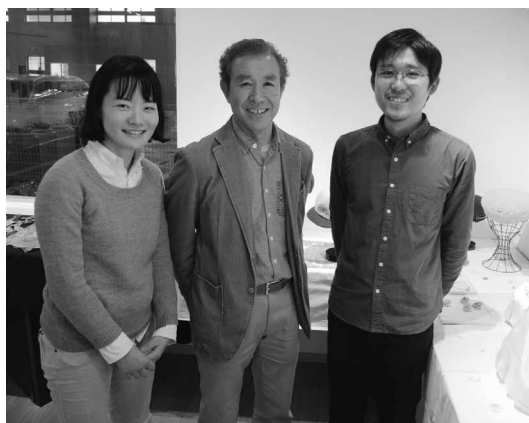
神楽坂 パルスギャラリー

神山 隆夫氏（昭和43・A卒）

佐藤 充俊氏（平成17・A卒）

岩本 有未氏（平成17・A卒）

AYAKA氏（平成17・A卒）



AYAKAさん、神山さん、佐藤さん

都立工芸時代の思い出

池辺武彦（昭27・F卒）

私が入学したのは昭和21年4月1日、旧制中学の最後の年でした。（12歳）校庭には戦時中の遺物の焼夷弾の不発弾があちこちに埋まり、体育の時間にそれらを掘り出したりしました。信管に触れると爆発する恐れがあるので今から思うと随分危険な事をしたものだと思いますね。しかし日常でも小銃や機関銃の弾を土に埋めて上から長い棒で叩いて爆発させたりして遊んでいましたね。

戦後間もない頃の事、給食も無く弁当は米のご飯ではありません。薩摩芋を2本か3本新聞紙に包んで行くか、こんなにやくを弁当箱に詰めて持参したり、雑炊を井に入れ風呂敷で包んでぶら下げてくる人も、笑えない事実でした。

白米のご飯のことを銀シャリと言って大変貴重なもので普段は減多に食べることが出来なかったしろ物です。

学生服・靴・靴などもみんな配給で、衣料切符が必要な時代で、みんな簡単に手に入れる事は出来ませんでした。帽子は戦闘帽、地下足袋を履いてチンチン電車（東京市電）で早稲田から茅場町行き15番に乗り江戸川橋へ大曲経由へ飯田橋で13番の万世橋行きに乗り換え水道橋まで。

神田の本屋街にも良く行きましたの

◎ 出品 第61回日本伝統工芸展

日本橋三越本店 本館・新館
7階ギャラリ―

・染織

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

高松宮記念賞

長板中形着尺「漣文」

・金工

田口 壽恒氏 (昭和34・A卒)

人間国宝

鍛籠銀水指

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

北狐帯留金具

・木竹工

林 哲三氏 (昭和37・F卒)

花梨拭漆平鉢

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

人間国宝

楓嵌装小箆筒「清風徐来」



作品の前で、須田賢司氏

おとなの工芸祭2014

デザイン科OB・OG展示会&イベント「おとなの工芸祭2014」がART GALLERY (アートガレ) 神楽坂で開催されました。会期初日には君島昌之氏 (元D科教諭) によるタイムリーな講演「東京オリンピックと大阪万博のグラフィックデザイン」も行われ、たくさんの方々が賑わいました。



おとなの工芸祭 会場

展示参加者 (敬称略)

●佐藤秀男 (昭和51・D卒) ●永井裕明 (昭和51・D卒) ●飯嶋晶子 (昭和51・D卒) ●村雲玲子 (昭和51・D卒) ●狩野浩之 (昭和53・D卒) ●金児剛夫 (昭和58・D卒) ●菊地和浩 (昭和58・D卒) ●松原伸生 (昭和59・D卒) ●大竹美樹 (昭和59・D卒) ●金子秀行 (昭和60・D卒)、金子千晶 (昭和63・D卒) ●帆足宗二郎 (昭和64・D卒) ●吉野 愛 (昭和64・D卒) ●猪上雅也 (平成2・D卒) ●杉原由美子 (平成4・D卒) ●鈴木 繭 (平成4・D卒) ●遠藤裕美 (平成5・D卒) ●小川雅子 (平成5・D卒) ●栗山あゆみ (平成5・D卒) ●中村しのぶ (平成5・D卒) ●宮尾純子 (平成5・D卒) ●吉寄昌治 (平成5・D卒) ●池田卓哉 (平成22・D卒) ●君島昌之 (元デザイン科教諭) 昭和46年〜平成6年在職

和59・D卒) ●松村素子 (昭和59・D卒)

●金子秀行 (昭和60・D卒)、金子千晶 (昭和63・D卒) ●帆足宗二郎 (昭和64・D卒) ●吉野 愛 (昭和64・D卒) ●猪上雅也 (平成2・D卒) ●

杉原由美子 (平成4・D卒) ●鈴木 繭 (平成4・D卒) ●遠藤裕美 (平成5・D卒) ●小川雅子 (平成5・D卒) ●栗山あゆみ (平成5・D卒) ●中村しのぶ (平成5・D卒) ●宮尾純子 (平成5・D卒) ●吉寄昌治 (平成5・D卒) ●池田卓哉 (平成22・D卒) ●君島昌之 (元デザイン科教諭) 昭和46年〜平成6年在職

作家によるうるし・おわん・うつわ展

西武池袋本店6階アート・ギャラリ―

水口 咲氏 (平成5・D卒)



で神保町経由にした時期もありました。現在の様にスニーカー等と称する、しゃれた物はありませんでした。

しばらくして桐の高下駄・いわゆる朴歯でそれを履くと急に背が伸びたように嬉しかった思い出のひとつ、電車の中で回りの人より首ひとつ出る訳です。それから急に大人になったような錯覚を感じたものでした。

また旧制高等学校生のようなスタイルでズボンの腰に手ぬぐいをぶら下げ、帽子の天辺は髪の毛が覗くように穴が開き雑巾のように汚れていました。

実習の時間に、自分で朴の木を鉋で削り歯を入れたりなどした記憶もよみがえります。

学制改革で新制になった事が我々にとって誠にありがたい出来事でした。

英語の教科書は新聞紙の様な紙に印刷された物1枚で、自分で折りたたみ製本して持つて行く訳です。たまたま方が悪いと正しいページに製本できません。

家の近くの文房具屋の親爺が工芸の記事を見るや君は府立工芸か？と尋ねました。そうですと答えると、良く入れたなあそこは難しいんだよ、と言われて嬉しくなりました。

それから学制改革により、併設中学校となり下級生の居ない、最下級生の時代が2年続くと言う過渡期を過ごしました。

新制工芸高校に初めての女子生徒が3人図案科に入学しました。(続く)

支部だより

51回中京工芸会総会開催

10月19日(日)13時「名古屋料亭 大森」にて開催しました。

開催に先立ち今年亡くなられた東瀬野武雄さん(S15M卒)、廣本貫二さん(S21A卒)ご両人のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。ご両人は当会発足以来の会員で尽力頂きました。

総会には築地工芸会の桜井会長さん、細江前会長さんそして遠くから馳せ参じて下さった岩崎龍二さん(S35M卒)、井上京子さん(S50F卒)、遠路のご出席を頂き、総勢10名で昔懐かしい話は終わりを知りませんでした。続いて、2次会のカラオケでも、楽しい時間を過ごしました。



51回中京工芸会総会

当会の悩みは会員数の減少、高齢化による出席困難な方が増えています。でも1人でも2人でもご出席頂ける方が居られる限り、これからもこの会を存続させたいと思います。

中京工芸会副会長

五反田 稔(昭35・M卒)

平成26年度 関西工芸会の集い

11月3日に京都は嵐山にある日本料理屋「らんざん」にて毎年恒例の関西工芸会の集いがあり、東京からは築地工芸会桜井会長、細江前会長、神山先生も出席して下さい総勢8名で開催致しました。

秋晴れに照らされ美しい色彩を帯びた嵐山の木々を一望することが出来る素晴らしい部屋から、美味しい料理を食べながら1年ぶりに再会する関西工芸会メンバーの語らいは終始途切れることがありませんでした。



平成26年度関西工芸会の集い

昼食会後は皆さんと世界文化遺産に登録されている《天龍寺》で紅葉狩りを楽しみ、観光

名所《竹林の道》

を散策し

秋の嵐山

を存分に

楽しむこ

とが出来

ました。

今年は

現役大学

生の参加

者があり

ませんで

したが、これから卒業して関西に進

学・就職してくる在校生の皆さん、関

西にも工芸の和は途絶えることなく開

られていくので、関西にお越しの際

は築地工芸会に是非ご連絡下さい！

関西工芸会事務局

松田 健(平成13A卒)

A科同窓会総会のご案内

日時 3月28日(土) 13時～16時

場所 工芸高校

視聴覚室及び会議室

懇親会費 2～3千円予定

久し振りのA科同窓会を行います。

楽しい企画も考えています。

前回250名の参加がありました

が今回も全定の若い卒業生に沢山集まっ

ていただき、300名を超す盛況にし

たいと願っています。(神山 隆夫)



秋晴れの京都・嵐山にて

ONO display co.,ltd.

商業空間・展示施設・イベント・サイン
企画・デザイン・施工

株式会社 小野工芸社
代表取締役 小野 勝之

〒110-0004 東京都台東区下谷3-16-12
TEL 03-3874-7181 FAX 03-3874-5590

宝石・石止全般
株式会社 タカギ彫金工芸
代表取締役
高 木 実
(A・48卒)
〒111-0054 台東区鳥越1-23-5
電話(03)3866-0961(代)

クラス会

●辰巳会（昭和23年第二本科卒）

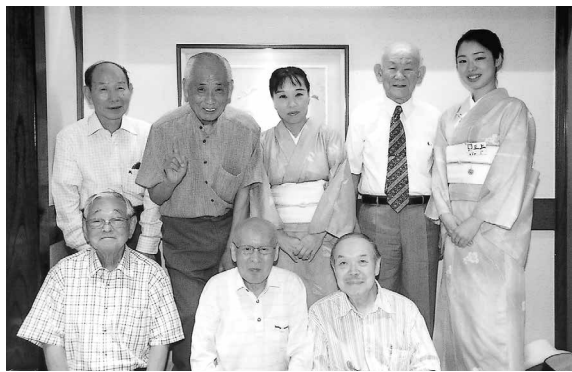
昨年の9月上旬は、天候が不順でしたが幸いにして9月5日(金)なじみの「がんこ上野本店」で開催いたしました。

昨年は級友の訃報が相次ぎ、6月1日に大谷義隆君、8月1日に菅谷文夫君が逝去されました。

米寿間近のこの年での級友の鬼籍は、筆舌に尽くしがたい寂しさがあります。

両君のご冥福を祈り黙祷後、宴会に入りました。

杯を重ねるにつれて「オレ。オマエ」と呼び交わした工芸時代の話が尽きることなく咲きつづけ、満ち足りた一時を過ごし散会しました。



辰巳会（昭和23年第二本科卒）



昭和28年定時制P科卒 クラス会



昭和39年定時制A科卒 クラス会



昭和40年全日制D科卒 クラス会

とともに、若いながらも他界された級友達のことも含めて、皆で親交をより深めることができました。

卒業以来、度々開催されてきたD14クラス会ですが、久しぶりに皆の元気な姿がみられて参加された皆さんが安心した感がありました。それでも話は尽きず、昭和の香りの残る喫茶店で夕方まで語り合い、再会を約束して散会しました。

（幹事：島田・清水）

本年は、開催30回目の節目を迎えるので、体力的な衰えもあり、会の存続について打ち合わせも必要かと思っております。

今年も、全員参加を希望しております。

（田代 智隆）

●昭和28年定時制P科卒クラス会

初秋の訪れた2014年10月20日（大安の日）を選んで東京タワー下の「とうふや・うかい」にて40年ぶりにクラス会を開きました。80歳となり人生の一区切りの時期に5人で集まりました。

卒業時は昭和の時代が大きく変化する時でした。私を除く、写真右より斉藤氏・生明氏・小平氏・秋山氏の4人は新聞社に入りました。私は写真の仕事の弟子入りをしていました。

懐かしい学生時代の話から現在に至るまでの様々な様子を時間のある限り話し合い、おいしい料理に満足し、今後のお互いの健康を祈って別れました。

（星野 秀夫）

●昭和39年定時制A科卒クラス会

平成26年10月18日(土)に神楽坂・志満金にて級友8名で開催しました。

今年、私達は齢の節目であります古希を迎えます。久し振りに懐かしい顔合わせ、タイムスリップで50余年を思いだし、楽しいひとときを過ごしました。

各人の近況報告から始まり、健康、年金、政治、経済等の話など色々な話題で一杯でしたが、現役でいる人も数名いまして、貴重な話も聞けました。

和気藹々、時間がアツという間に過ぎてしまう程楽しいひと時でありました。店の計らいで1時間程延長してくれたので話しも区切りが付き、2年後の開催を決めて散会いたしました。

（加藤 英元）

●昭和40年全日制D科卒クラス会

卒業してから50年を迎えるということで集まろうと、D科14期生クラス会が、去る4月13日に東京・台東区谷中の吉里谷中総本店にて開催されました。参加者は担任の竹内芳勝先生ご夫妻を含め生徒22名の多きを数えました。卒業以来、初めて出会う級友も多く遠方からの参加もあり、工芸のなつかしき時代から仕事の変遷や家庭、現況までを出席番号順に発表。竹内先生が参加者よりも元気にみえることに驚かされる



昭和45年全日制M科卒 大島先生を囲む会

●昭和45年全日制M科卒 大島先生を囲む会

午後からの時雨模様のお天気もすっかり晴れ上がった9月20日(土)、「北の味紀行と地酒 北海道 品川インテリシティ店」にてM1・M2合同クラス会を開催、2年ぶりに皆と再会しました。当日は恩師・大島文夫先生にご出席頂き、総勢17名の参加による盛大なクラス会となりました。前回と同様にお元気でユーモアのある大島先生からのご挨拶を頂き和やかな雰囲気となったところで、今夜もタイムスリップが始まり工芸生に戻ってしまいました。引き続き全員の近況報告が有り会社を無事卒業している方々や、まだまだ現役で頑張っている人達も多くいて、頼もしい限りでした。飲みながら皆と話



君島先生の古希お祝いの会

写真…前列左から 古木嘉雄・岡嶋弘和・山路益男・近藤賢治・吉澤政男・中村高久 2列目左から

佐藤守克・小島貴代子・大島文夫先生・笠井剛・田原賢二 3列目左から 遠藤恵樹・相村修二・横倉敬一・歌川久雄・山路勝彦・鶴川敏樹

●君島先生(元D科教諭)の古希お祝いの会開催

昨年8月に70歳を迎えられた君島昌之先生の古希をお祝いする会が、8月30日に東京湾クルージングで開催されました。デザイン科で君島先生の教えを受けた25期から45期までの卒業生に先生の奥様やご家族を合わせ総勢124名の皆さまが参加されました。心配された天気にも恵まれ、船から夕暮れの東京湾の景色を楽しみながら久し振りに会った旧友たちと楽しいひと時を過ごしました。

ic用各種タイバーカッター
各種専用機 設計製作

(有)神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫
定M13(昭36)

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

技術資料の制作

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション・エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

母 校 だ よ り

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

クラウドゲート主催 createイラスト

コンテスト

クラウドゲート賞 3年 小島真珠

●Memories of GUMI イラストコンテスト

採用 3年 小島真珠

●高校生イラストコンテスト「日本の

イメージキャラを作ろう」

優秀賞 3年 浪越健明

●第9回全国ジュエリー・アクセサリ

デザイン画コンテスト(宝飾クラフト

教育振興会)

高校生デザイン画賞 3年 森屋あるみ

MACHINE CRAFT

●ジュニアマイスター顕彰

ゴールド 3年 木下祐希・小池吾郎

シルバー 3年 中山葉月

2年 佐藤啓龍

INTERIOR

●第8回ものデザインコンテスト

クラフト部門

優秀賞 2年 加藤ゆかり

優良賞 2年 宇野澤歩、山内映李

篠崎美月、實方滉幸

インテリアデザイン部門

優秀賞 2年 池田悦子

優良賞 2年 伊藤大地、村山恵実子

●平成26年度住まいのインテリアコーデ

イネーションコンテスト(高校生部門)

インテリア産業協会会長賞

2年 大島万奈

優秀賞 2年 加藤ゆかり

●第27回デザイン甲子園(全国高等学

校インテリアデザイン展)

日本家具産業振興会会長賞

2年 實方滉幸

福岡県家具工業組合理事長賞

2年 高木健太郎

読売新聞社賞 2年 村山恵実子

毎日新聞社賞 2年 加藤ゆかり

●第27回丹波の森ウッドクラフト展

佳作(丹波の森ウッドクラフト展実

行委員長賞) 3年 宮坂維

●第3回全国合板1枚・作品コンペ

「合板1枚コンペ発祥の地 島根」賞

3年 横尾かな

審査員特別賞 3年 田口悠人

荒井佑一

奨励賞 3年 菊間彩日

●第28回日本工業大学設計競技 奨励賞

3年 半田由衣

●秋田県立大学全国高校生建築提案コ

ンテスト2014

優秀賞 2年 大島万奈

佳作 2年 宇野澤歩

GRAPHIC ARTS

●第18回全国きものデザインコンクール

銀賞 3年 富安袖衣

入選 3年 伊東知恵・種子田萌夏

●いきいきシアターの集い(主催:文京区)

デザイン採用 2年 徳井愛子

●元氣生活のための体力アップフェア

(主催:文京区)

デザイン採用 2年 深谷あゆみ

●高校生書評合戦 ブックカバーデザイン

デザイン採用 1年 野田彩夏

●第10回IPAひろげよう情報モラル・

セキユリティコンクールポスター部門

優秀賞 3年 三浦奈々

●未成年者喫煙防止ポスターコンクール

最優秀賞 3年 中沢利樹

優秀賞 3年 京極梨世

2年 藤本苑花

1年 野田彩夏

●平成26年度8020運動ポスターコンクール

優秀賞 3年 田中雄大

入選 3年 岩崎瞳・家泉明花

●第33回川の写真コンクール

金賞 3年 原田ひなの

銅賞 3年 中沢利樹

佳作 2年 鶴野寿麻

●第27回 道のある風景写真コンクール

ビックカメラ賞 1年 佐藤悠太

努力賞 3年 伊東知恵・原田ひなの

DESIGN

●(冊子)都立高校に入学を希望する
皆様へ

表紙原画作成 3年 大田晴

挿画作成 2年 齋藤彩樹・山本万貴

●26年度学校要覧

表紙原画作成 3年 佐藤文音

●文京区社会を明るくする大会

ポスター、パンフレット原画作成

2年 山野実桜

パンフレット原画作成 1年 伴聖菜

●都立学校外部指導員バッジ

バッジデザイン採用 3年 陳由莉

●都立学校外部指導員資格証

資格証カードデザイン採用

3年 西尾かなで

●第13回全国高校生ポスターコンクール

入選 3年 大田晴・小野田朱璃

木南友梨香・佐藤文音

鈴木駿哉・藤田美優

●横浜税関ポスターコンクール

税関長賞 3年 田邊香奈子・陳由莉

2年 金子珠季・川中子朝

美・齋藤彩樹

●東京都明るい選挙ポスターコンクール

東京都優秀賞・公益財団法人明るい選

挙推進協会会長・都道府県選挙管理

委員会連合会会長賞 1年 市川花

東京都優秀賞 1年 山口真生子

東京都入選 1年 野口夏輝

茂田井菜央

●かわさき産業デザインコンペ

優秀賞 3年 田尻みなみ

入賞 2年 金子珠季・宮寺紗恵

母校だより2

●緑化運動ポスター原画

入賞 3年 藤田美優

●レタリング技能検定

1級 3年 田邊香奈子

●2014年第1回実用英語技能検定

準2級 1年 露崎紗也子

定時制

●東京都建設系高校生作品コンペティション2014(ポスター部門)

最優秀賞 3年I 渡部桜

審査員特別賞 3年I 蓼沼寛名

CCI東京特別賞 3年I 青木唯

●東京都建設系高校生作品コンペティション2014(工芸部門)

最優秀賞 4年I 及川弘貴

優秀賞 4年I 濱田純平

●定通芸術祭

演劇部門 第3位 演劇部

美術部門 銀賞 3年A 下田健太郎

書道部門 銅賞 2年G 大井千佳

写真部門 銅賞 4年G 丸山由衣

第12回全国高校生付け句コンクール

入選・優秀作 2年M 杉山修斗

入選 1年I 中澤恒太

1年G 溝添巧朗

その他1名

●東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑 花壇デザイン画

その他1名

審査員特別賞 2年G 熊本有里

●実用英語技能検定2014年度第2回

2級合格 3年G 平沢繪子

●第27回基礎製図検定

合格 3年A 伊藤寛耶・大波眞子

●第71回計算技術検定

2級合格 3年M 岡部桃子・細川初音・松野正宗

●第45回機械製図検定

合格 4年M 相賀紀宏

●第27回基礎製図検定

合格 3年M 小坂橋陸

●福祉住環境コーディネーター3級

合格 4年I 阿部湧介

●第27回パソコン利用技術検定

2級合格 2年A 清水虎太郎・楯府拓実・星もも子

●第52回技能五輪全国大会

貴金属装身具部門第3位

平成25年3月卒業A 福山優香

.....

●工芸祭2014

11月1日(土)、2日(日)に工芸祭が行われました。2日間の入場者数は6115人。今年も多くの方々に工芸の魅力を伝えられたことでしょう。今回の装飾テーマは「タイムトラベル」。博物館をイメージした入場門をくぐると、迫力満点の大きな恐竜やスカイツリーなどが迎えてくれました。

全部で50を超える展示室での作品は、どれも工芸生らしさを発揮し、見る者を魅了していました。それに加え、

体験コーナーや部活動の発表も目立ち、生徒たちの日々の学校生活の充実ぶりを垣間見ることが出来ました。彼らの創造力や感性は、この充実した「工芸生活」によって培われているのだと感じます。

そして、現生徒たちの作品を見ながら自分たちの工芸生活を思い出し、楽しかったこと、つらかったことを笑いながら切磋琢磨した仲間と共有することが出来ました。卒業生の私たちにとって、これが本当の意味での「タイムトラベル」だったのかもしれない。

後輩たちは粋な計らいをしてくれました。

高垣嘉織(平成19・I卒)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



広告制作会社 たきグループ グループ創業者 滝澤方美 D3(昭29)

(株)たき工房 (株)たきホールディングス (株)日本コマースフォト
(株)プラン (株)ワークアップたき (株)インパクトたき (株)たきCI (株)タクト



株式会社たき工房

TAKI GROUP

本社:〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351 (代) URL:http://www.taki.co.jp